（様式1）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 094	**提案機関名**	神奈川県農業業同組合中央会

要望問題名

鳥獣害防止技術の開発

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

山間部は元より都市部まで広く県下全域において、多種の作物が鳥獣による被害を受けています。特に、サルやハクビシンのようにあらゆる方法で圃場内に侵入する動物への安価な対応技術が求められています。また、カラスについては各種の対応策が出されていますが、学習能力が高く一時的なものとして終わってしまうのが現状です。

このようなことから、作目別、鳥獣別の被害防止技術の開発をお願いします。

解決希望年限	①1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	企画調整部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

対応の内容等

当所では鳥獣害防止技術に関する研究課題の設定について、提案可能な技術及び実現可能性の有無により実施を検討しており、平成21年度の研究成果として「ブドウ栽培におけるイヌの被毛の設置によるハクビシン食害防止」を公表しています。しかし、現地で問題となっている鳥獣害すべてへの対応は困難な状況です。

なお、現地での実施が可能な鳥獣害防止技術に関しては、独立行政法人や他県の成果を活用し、普及部門をとおして支援してまいります。

解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備　考	